

研究課題名	心臓血管外科術後の心房細動発症リスク層別化と術前予測スコアの構築
研究の意義・目的	心臓血管外科領域において術後の心房細動(シンボウサイドウ, 心房細動とは心臓の上の部屋である心房が小刻みに震えて痙攣し、心臓がうまく機能しなくなる不整脈)は最も一般的な合併症の一つであり、脳卒中(ノウソッチュウ, 脳卒中とは脳の血管が詰まったり破れたりして、脳に血液が届かなくなり、脳の機能に障害が起こる病気の総称)や心不全(シンフゼン, 心不全とは心臓のポンプ機能が低下して、全身に血液を送り出せなくなる病気の総称)など様々な合併症の元となり得る。高齢化や併存疾患を持つ患者の増加に伴い、術後心房細動発症率は増加の一途を辿ると考える。術前の患者背景や各種検査データから術後心房細動発症のリスク因子を同定し、それらをスコア化することで、術中術後に心房細動発症の予防策を検討する一つの指標となり、今後の研究発展に繋がると考える。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~ 2028 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2015 年 1 月~2024 年 12 月に大阪公立大学医学部附属病院の心臓血管外科で、 予定の開心術(胸を切って心臓の弁や血管を治す手術)を受けた方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、嗜好歴、内服歴、来院時現症、入院時血液検査データ、術前心電図検査、術前心臓超音波検査所見、手術情報(術式、手術時間、手術内容)、周術期合併症に関する診療録、術後内服薬、遠隔期合併症(脳卒中の有無)に関する診療録
提供する試料・ 情報の取得の方法	診療の過程で得られた診療情報
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科心臓血管外科学のみで行います。 【研究責任者】 心臓血管外科学 准教授 高橋 洋介
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。

本研究の 利益相反	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 心臓血管外科 担当者氏名：野田 和樹 電話番号：(06) 6645-3980 メールアドレス：su23682q@st.omu.ac.jp